



KALEIDO

SCOPE

16歳の教科書 講談社

「なぜ、学ぶのか？」各教科のエキスパートが、色々な角度からこの問題に明確に答えてくれています。

大人も子供も読んでみる価値あり
おすすめですよ！

はるかぜ書店のテ-ブルには毎週月お日に
お花が"生けられます。草月流の石井泰波先生の
ステキな作品を、ぜひご覧下さいね!!

最近 文庫サイズの料理がらみの本が
目に付きます。

- 「娘に贈る家庭の味」 文春文庫
- 「自由にできる土井家の家ごはん」 講談社
- 「西肴道場」 三笠書房 etc

あうちでひらく本から 読み物へと成長
しているのでしょうか。 さて 今回ご
紹介するのは

「100文字レシビ ショウゴウする！」 新潮文庫
携帯サイトで連載されたものをまとめたもの
だとか ... たった 100文字でもよく
わかるものですね。

「ひとりでは生きられないのも

芸のうち」

内田樹 著

秀逸なタイトルの示すとおり、孤立化の
進む現代社会の「自己責任」の呪縛を
解く。"ログ"を元にもとめて本音のこゝろ
ととも読みやすいですよ。

はるかぜ書店 "ログ" "カレイド" "スコープ"
<http://blog.canpan.info/harukaze/>

何歳からでも 美くなる生活

講談社MOOK

この本には、アンチエイジングを
あらゆる角度から詳しく解説してくれて
います。"何がいいのか、悪いのか"
常識と思われていたことが覆えるかも...
是非、手にとってほしい1冊です

「農業貴族①」 荒川弘 著
北海道の大地で"牛とたのむれ、
シマガキイモと格闘!! 農家の生活を描い
た、コミックエッセイ。農業高校の東態も驚き!!

ご注文は
はるかぜ
書店

TEL 804-7883

こんにちは！月1度の「読み聞かせ」でお世話になっている川口です。

いつも一語の、やさしさをあふれる「牛あそび」上手な久保田さんは
サークル「けやまの会」(代表は川口)の仲間です。私たちは主に市内の
図書館や、小学校で活動しているのですが、対象年齢があらじめ
合っているため、本の準備が前もって出来ます。つり所要時間も
演目を午後の済みで安心し当日は取り組むということでした。

ところが、「はるかせ」は全くフリー。どんな年齢の子供(大人)が何人
来店するのかわかりません。季節物の本や紙芝居など何冊か用意して
持参するのですが、予想外もしばしば。当面の状況を見ながら足りない
時は本棚から^{急ぎ}取り出すやら、リクエストの本を初見で読むやら。毎回ヒヤヒヤ
ドキドキなのです。正に私たちの実力(と言っても大したことはありませんが)が
試されているのです。終了後は反省しやり直し、連に子供たちから沢山のことを
教えてもらっています。このような楽しく試練の場(?)を与えて下さった
はるかせ書店には心から感謝をしています。人間いつまでたっても勉強ですね。
ということで今後も絵本やおぼろしについての情報、思い出など
ありましたら気軽にどなたでもお教え下さい。これからよろしくお願いします
川口香世

2月のよみきかせ

2/23(火) 3:00~

絵本のよみきかせのほかにも
紙しばいや牛あそびもするよ。
遊ぶ"にきてね!!

『お茶が"運は"れて

くるま"に』

時雨沢恵一著

一歩いて旅をする人は、道に咲く川さな

花"らの形を覚えてくる—

寓話性に満ちた物語を、

リリカルなイラストが彩る作品集。

あなたなら、どうするの?e

問"かけられるような一冊です。